

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会後援会

第6回 定期 総 会



日 時 2022年（令和4年）5月15日（日）

10:00 ~

場 所 千葉聴覚障害者センター 多目的ホール

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ **目 次** ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

目次1

総括2

第1号議案 2021(令和3)年度 活動報告3

第2号議案 2021(令和3)年度 決算報告7

第3号議案 2022(令和4)年度 活動方針案11

第4号議案 2022(令和4)年度 予算案14

(資料)17



サーマルカメラ



らいおん工房加曾利農場 耕運機



らいおん工房加曾利農場 イチゴ棚



総 括

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、当会のイベントや街頭カンパ等の資金造成活動に大きな影響が出ました。その中でも、新芽まつり、秋穫祭、共催としての映画「咲む」上映会、耳の日まつりでの販売や広報活動と、できる限りの活動を行うことができました。資金造成面では、街頭カンパができない状況でしたが、多くの一般寄付をいただくことができて、今年度も一定の成果を挙げることができました。個人会員数では減となってしまいましたが、団体会員においては、微増ではありますが、会員数増を果たすことができました。コロナ禍の現在、人と人のつながりが難しい中、画期的なことであり、日頃の地道な会員一人一人の努力が実を結んだと言えます。

令和2年度は、コロナ対策として千葉聴覚障害者センターで活躍している自動検温器「サーマルカメラ」（複数の通行者を同時検温）の導入支援や、コロナ禍で需要が高まった意思疎通支援事業の支援など、緊急措置的な対応を取らざるを得ませんでした。令和3年度は、らいおん工房の農場の設備支援など、本来の目的である聴覚障害者の福祉向上につながる支援を行うことができました。らいおんぐる一歩各施設では、コロナ禍にもかかわらず、多くの利用者が集い、手話で語り合っていました。その笑顔を見ていると、この運動の大切さがひしひしと感じられました。

令和4年度の社会状況も不透明なところが多い状況ですが、できることをひとつずつ丁寧に行い、多くの方の理解を得て会員数を増やせるよう地道な活動を重ねていきたいと思えます。千葉県聴覚障害者協会の福祉事業の充実を通して、千葉県のすべての聴覚障害者が笑顔を取り戻し、手話で安心して語り合える社会の実現を目指していきます。

第1号議案

2021年度 (令和3年度) 活動報告



2021年度（令和3年度）活動報告

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会（以下千聴協）と連携し、千聴協を支えて活動した。新芽まつりや秋穫祭などのイベントをとおして、聴覚障害者、ろう重複障害者の福祉向上に努めた。

1. 会員拡大

個人会員数は、2020年度より11名減って、322名となった。特に地域的な片寄りは見られなかった。団体会員は15団体から17団体と増えた。個人会員では苦戦となったが、団体会員ではコロナ禍において健闘したと言える。今後は、各ブロックの活動を通して入会を強く訴えて会員数増につなげたい。

活動内容としては、新芽まつりや秋穫祭の実施、耳の日まつりでのPRや、機関紙「このゆびとまれ」を予定通り発行し、広く理解を求めた。千聴協のこれまでの活動実績や成果、今後の活動計画についての情報提供を受け、運動の意義を伝え、会員をはじめ、広く一般の方に浸透するように図ったことが、団体会員数増につながったと思われる。この動きを個人会員でもあてはまるようにし、コロナ禍をはじめ社会状況の見通しが不透明な中でも、社会の理解を深め、更なる会員数増につなげていきたい。

2. 資金造成

2021年度は、街頭カンパの取り組みができず、会費収入、一般カンパや店頭募金、笑む上映会に伴う収入が中心となった。現時点での社会情勢が見通せず、今年度も同様の取り組みが中心となると思われる。会員数増、一般寄付増につながるような、PR活動の充実に努めていきたい。

2021年度(令和3年度) 各部報告

【事務局】

1. 理事会を4回(内書面理事会1回)開催。
2. コロナ感染予防に配慮しながら、後援会の運営を進めた。

【イベント部】

2つのイベント、新芽まつり、秋穫祭は、新型コロナウイルス感染予防対策しながら開催した。密にならない方法での企画、販売物の制限等を行いながらとなったが、対面が一番いいものであると再認識でき、有意義なものとなった。

また、映画「咲む」の上映会は各市で実施し、聴覚障害者を取り巻く問題を鑑賞することによって課題の啓発をすることができ、同時に収益にもつなげることができた。

2021年度は、22箇所、39回上映、鑑賞者述べ2456名となった。

【広報部】

1. 機関紙「このゆびとまれ」について
年6回発行。後援会の活動を紹介し、聴覚障害をもつ高齢者・ろう重複の仲間についての理解を深めてもらうように努めた。
2. ホームページについて
後援会のホームページを適宜更新した。
ホームページURL <http://www.chibadeaf.or.jp/kouenkai/index.html>



【資金造成部】

1. 新型コロナウイルス感染防止の観点から街頭カンパが困難な状況をふまえ、カンパ以外の資金造成としてイベントの新芽まつりや秋穫祭による資金造成や店頭募金や団体活動や個人活動などによる各種募金箱に力を入れた。
2. 前年のオリジナル商品の指文字ネックストラップ販売を、映画「咲む」の上映会等で展開してきた。
3. 資金造成とともに会員拡大へ向けて一人一人へ呼びかけを実施した。個人会員数では減となったが、団体会員数が増え、粘り強い運動の大切さを実感させられる思いであった。
令和2年度 333名→令和3年度 322名

	名称	内容
会費	会費収入	個人会費、団体会費
寄付	街頭カンパ	駅やショッピングセンター、市民まつりなどの場で、ブロックあるいは地域のろう協、手話サークル等が一般市民に呼びかけて募った募金
	行事カンパ	地域のろう協、手話サークル、構成団体等が参加した行事(バザー、フリーマーケット等)において寄せられた募金
	店頭募金	スーパー、商店等に置かせていただいている募金箱に寄せられた募金
	各種、募金箱	竹筒募金箱等、各種の募金箱をお手元等に置いていただき、寄せられた募金
	一般寄付	個人または団体(ろう協、手話サークル等)の有志から自発的に頂いたご寄付
	プレート	情報提供施設の充実のためにお寄せ頂いたご寄付
事業	イベント	新芽まつり、秋穫祭、各支部イベントなどでの収益
	オリジナル商品	指文字ストラップの販売等

第2号議案

2021年度 (令和3年度) 決算報告



2021年度(令和3年度)決算報告(2021年4月~2022年3月)

収入の部

(円)

		2021年度予算	2021年度決算	摘要
会費収入	会費収入(個人会員)	1,500,000	1,155,000	会員数 322名 口数 385口
	会費収入(団体会員)	150,000	180,000	会員数 17団体 口数 18口
	小 計	1,650,000	1,335,000	
寄付収入	街頭カンパ	0	0	
	行事カンパ	100,000	22,319	会場カンパ等
	店頭募金	500,000	394,885	
	各種募金箱	1,000,000	276,263	
	一般寄付	1,000,000	2,854,679	
	プレート	1,000,000	101,000	2枚
	小 計	3,600,000	3,649,146	
事業収入	雑収入	30,000	14,206	コピー用紙等売上、受取利息(353円)
	イベント収入	200,000	496,071	新芽まつり、秋穫祭、咲む上映会等
	商品売上	500,000	443,550	オリジナル商品売上
	小 計	730,000	953,827	
	積立金取り崩し額	5,000,000	5,780,000	センター3階多目的ホール冷暖房交換等
		1,000,000	1,000,000	センターコミ課会計システム関連
		500,000	300,000	遠隔手話通訳関連
		500,000	0	らいおん千葉・工房・センター分室 移転諸経費
		100,000	0	らいおんぐるーぷのぼり等作成費
	小 計	7,100,000	7,080,000	
	合 計	13,080,000	13,017,973	

2021年度(令和3年度)決算報告(2021年4月～2022年3月)

支出の部

(円)

	課目	令和3年度予算	令和3年度決算	備考
活動経費	イベント経費	100,000	92,671	新芽まつり、秋穫祭 等
	カンパ経費	20,000	7,321	募金箱作成 等
	プレート経費	22,000	13,750	プレート名入れ 前年度未発注分含む
	商品仕入	300,000	277,755	オリジナル商品仕入
	小計	442,000	391,497	
会議費	会議費	50,000	15,000	総会 等
	コミュニケーション事業	20,000	0	通訳料
	小計	70,000	15,000	
事務費	事務備品費	50,000	0	
	事務用品費	10,000	0	
	通信費	100,000	55,452	振込手数料 等
	雑費	10,000	1,063	残高証明 等
	小計	170,000	56,515	
広報普及費	機関紙	250,000	127,620	発送委託料・郵送料 等
	その他広報費	0	0	広報チラシ 等
	小計	250,000	127,620	
	予備費	100,000	0	
	計	1,032,000	590,632	
	資金積立金	4,948,000	5,347,341	
積立金拠出額		5,000,000	5,780,000	センター3階多目的ホール冷暖房交換等
		1,000,000	1,000,000	センターコミ課会計システム関連
		500,000	300,000	遠隔手話通訳関連
		500,000	0	らいおん千葉・工房・センター分室 移転諸経費
		100,000	0	らいおんぐるーぷのぼり等作成費
	計	7,100,000	7,080,000	
	合計	13,080,000	13,017,973	

2021年度(令和3年度)貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(円)

借方	金額	貸方	金額
現金	343,158	ろう重複施設積立金	30,830,386 ※1
千葉銀行 普通	2,884,806	情報提供施設積立金	2,581,186 ※2
千葉銀行 定期	15,004,080	積立金	22,950,491 ※3(2017~2021年度)
ゆうちょ銀行 振替	399,890		
ゆうちょ銀行 普通	457,904	前受金	72,000 ※2022年度会費
ゆうちょ銀行 定額	9,000,000		
長期貸付金	28,000,000		
貯蔵品	344,225		※ストラップ在庫
合計	56,434,063	合計	56,434,063

	増減	残高	備考
長期貸付金		13,000,000	期首残高
	▲2,000,000	11,000,000 ※4	(社福)千葉県聴覚障害者協会より返済
	17,000,000	28,000,000 ※5	(社福)千葉県聴覚障害者協会へ貸付
ろう重複施設積立金		33,430,386	期首残高
	▲2,600,000	30,830,386 ※1	らいおん工房加曾利農場関連
情報提供施設積立金		6,960,186	期首残高
	101,000	7,061,186	プレート寄付分を当期の積立金から振替
	▲1,880,000	5,181,186	センター施設修繕関連(建物)
	▲1,000,000	4,181,186	センターコミ課会計システム関連
	▲300,000	3,881,186	センターコミ課遠隔手話通訳関連
	▲1,300,000	2,581,186 ※2	大宮倉庫関連
積立金		17,704,150	期首残高
		5,347,341	当期資金積立金
	▲101,000	22,950,491 ※3	使途限定の積立金へ振替

・今期拠出額のうち、2,600,000円をろう重複施設積立金より

4,480,000円を情報提供施設積立金より拠出した。

・当期資金積立金5,347,341円のうち、101,000円を情報提供施設積立金に振り分けた。

※4 らいおんホームそがの土地代としてつくる会が貸し付けた200万円(期首残高1300万円)のうち200万円が、(社福)千葉県聴覚障害者協会より返済された。

※5 らいおん工房買取代として後援会が1700万円を(社福)千葉県聴覚障害者協会へ貸し付けた。

会計収支決算報告書をもとに会計帳簿、領収書などを監査した結果、公正妥当な収支決算であることを報告します。

令和 年 月 日

監 事 _____ 印

監 事 _____ 印